



気象データの利活用促進
～生産性革命の実現を目指して～

令和3年2月2日
気象庁
気象ビジネス推進コンソーシアム

気象データアナリスト育成講座の普及を進めます！

～気象データアナリスト育成講座カリキュラムガイドラインの公表、
気象データアナリスト育成講座認定の相談受付開始～

気象データ等を活用して企業におけるビジネス創出や課題解決ができる人材「気象データアナリスト」の育成講座を開講頂ける企業を募集します。

再生可能エネルギー分野や企業の気象災害に対するリスク管理、SDGsなどを背景に、産業界における気象データの活用可能性が高まっている中、気象データ等を活用して企業におけるビジネス創出や課題解決ができる専門的な人材「気象データアナリスト」の確保が課題となっています。

【気象データアナリスト】

- 企業における**ビジネス創出**や**課題解決**ができるよう、**気象データの知識**と**データ分析の知識**を兼ね備え、気象データとビジネスデータを分析できる人材
- 気象の影響を大きく受ける**企業の従業員**が「**気象データアナリスト**」**としてのスキルを身につけ**、即戦力として活躍し、業務に大きく貢献



| | |
|--|--|
| <p>交通・運輸</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 風雨雪・視程障害など交通障害対策 ・ 風雨・雷、熱中症など道路における保守作業等での安全対策 など | <p>流通・衣料・製造業</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ アイスクリーム、清涼飲料、衣料等の季節商品需要予測 ・ 卵・野菜・肉等の売行き予想 ・ 来店客数予想 など |
| <p>農業・畜産業</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 品種の選定 ・ 施肥、農薬散布 ・ 病虫害対策、高温・低温対策 ・ 畜舎の通風 など | <p>観光・レジャー・スポーツ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷夏・暖冬等の長期的な集客予測 ・ 風雨・雷、熱中症など安全対策 ・ 屋外イベント実施判断 ・ 登山者の支援 など |

今般、気象庁と気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）※は、気象データアナリスト育成の指針となる「カリキュラムガイドライン」（気象データアナリストが修得すべき知識・技術や育成講座の標準的なカリキュラム）を作成し、公表しました。

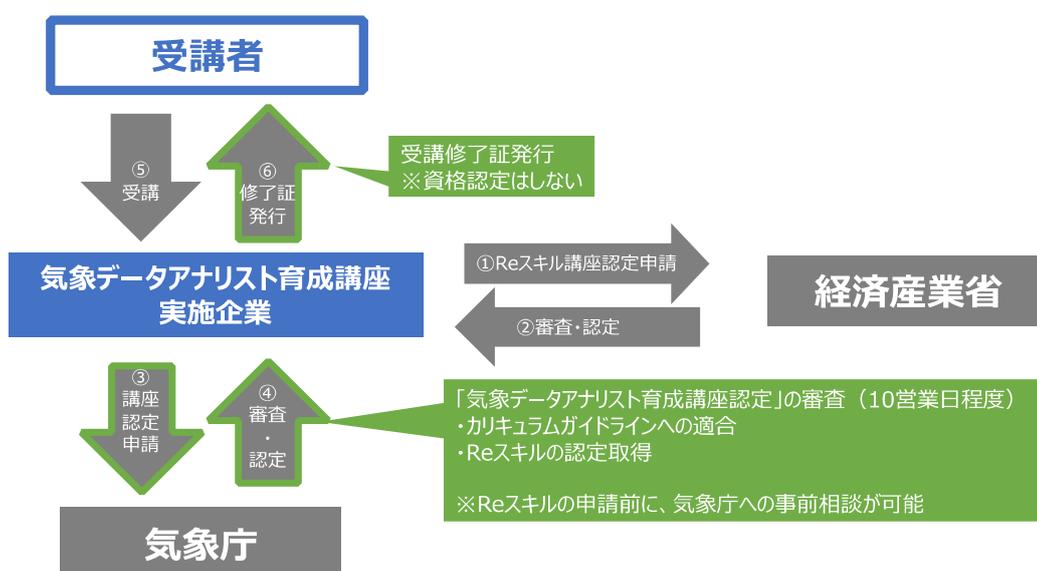
※平成29年3月に設立した産学官の連携組織。産業界における気象データの利活用を一層推進するとともに、気象データを利用した産業活動の創出・活性化に取り組む。会長は東京大学大学院情報学環越塚登教授。事務局は気象庁。

今後、気象庁はカリキュラムガイドラインに適合し、教育内容等が一定以上の水準を満たすと認められる民間講座を「気象データアナリスト育成講座」と認定して公表することとし、本日より認定を受けるための相談の受け付けを開始します。

【「気象データアナリスト育成講座」認定の概要】

気象庁は以下の条件を満たす民間講座を「気象データアナリスト育成講座」と認定する

- 気象データアナリスト育成講座の**カリキュラムガイドライン**に適合する講習であること
- 経済産業省「**第四次産業革命スキル習得講座認定制度**」(Reスキル)に認定されていること



本講座は、データ分析等の実務に就かれている方にさらなるスキルアップのために受講頂くことその他、データ分析等を行っている企業の新人教育の一環として利用されることが期待されます。

今後、気象庁とWXBCは気象データアナリストを育成することを通じて、気象データの高度な利活用を支援し、社会の生産性向上に一層貢献してまいります。

詳細については以下の特設ページをご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shinsei/wda/index.html>

問合せ先：情報基盤部 情報利用推進課 海老田・遠藤
(気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) 事務局)
電話 03-6758-3900 (内線 3181・3184) FAX 03-3434-9050